

平成31年度使用 中学校道徳教科用図書 東濃採択地区基準

調査項目	着 眼 点	県着眼点
内容に関する事	○道徳的価値についての内容項目相互の関連性や、学年段階ごとの発展性が工夫されているか。	1の(1)
	○生徒の発達の段階や特性を考慮し、現代的な課題をはじめ、多様な教材の開発と活用が工夫されているか。	2の(1)
	○ふるさとや地域への誇りや愛着をもつことができるための工夫がされているか。	4の(1)
構成と配列に関する事	○他の教科や特別活動等との関連を図る工夫がされているか。	3
	○学校の実態や地域の実情にあわせて、教材の配列を組み直すことに配慮があるか。	東濃独自
	○内容と分量のバランスは適切か。	東濃独自
学習と指導に関する事	○問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等に取り組む工夫がされているか。	1の(3)
	○ペアでの対話やグループによる話し合いや自分の考えを書くなどの目的に応じた効果的な言語活動の充実が工夫されているか。	1の(2)
	○家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携が図られるよう工夫されているか。	2の(2)
	○生徒の学習状況を把握し、道徳性に係る成長の評価を適切に行うための配慮がなされているか。	東濃独自
表現や体裁等に関する事	○文字の大きさや配置、図版、挿絵の配色、レイアウト等が適切に用いられているか。	5の(1)
	○目次、索引、注、凡例、巻末資料等が使いやすいものとなっているか。	5の(2)

【注釈】

- (1) 上記に示す「着眼点」を「採択基準」と読み替える。
- (2) 岐阜県教育委員会から示された9つの着眼点をすべて東濃採択地区においても着眼点とする。
- (3) 東濃採択地区として独自に3つの着眼点を付け加え、東濃採択地区の着眼点を合計12とする。